

## <白金標準、11月8日の常務委員会まで調整安に注意・・・>



(出所：オアシス)

中国の景気刺激策を機に白金標準先物は上昇を加速し、週末には 5093 円まで上値を模索している。特にワシントンで開催された G7 財務当局者会議で、プーチン・ロシア大統領の戦争努力を圧迫する新たな方法を検討する中で、世界のパラジウム生産の 4 割を占めるロシアのノリリスク・ニッケルのパラジウムに対する輸出制裁を検討するように求めた事から、PGM のパラジウム価格は大きく反発する値動きを示している。

また中国政府は、全人代常務委員会を 11 月 4 日～8 日に開催すると発表し、この会議で財政政策について言及があるかに注目される。ただ発表のスケジュールでは財政政策につながる予算調整案は議題に盛り込まれていない。

そのため今週は、中東情勢を受けた地政学的なリスクの高まりを受けたドル高・円安の中で、新甫 10 月限が発会を受けて高値発会から下値を模索する値動きに注意が必要と思われる。ただ常務委員会でスケジュールにない財政政策に繋がる予算調整案が打ち出されれば、中国要因で高値追いへ変化する可能性は高まるとされる。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** 上昇が止まり、シグナルは上昇し、RCI でも短期が下げながら、長期は維持するなど弱気のクロスが発生している。そのため 4900 円を割り込む動きが強まる可能性は高く注意が必要と思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,719,000 円(2024 年 10 月 28 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 84,480 円(2024 年 10 月 28 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>